



科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を段階に発展させることを目的とする「競争的研究費」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

移植医療における新たな治療の選択：樹状細胞の役割と治療対象としての可能性

研究課題/領域番号	26K11495
研究種目	基盤研究(C)
配分区分	基金
応募区分	一般
審査区分	小区分 55010:外科学一般および小児外科学関連
研究機関	東京医科大学
研究代表者	上野 琢哉 東京医科大学, 医学部, 非常勤講師 (00296469)
研究期間 (年度)	2026-04-01 – 2029-03-31
研究課題ステータス	採択 (2026 年度)

令和 8 年度稼働の科研費が採択されました。

3 年前にも科学研究費助成事業が採択され、本年も新たな研究課題がスタートします。2003 年に渡米し移植医療に携わってから 20 年以上経ち、日本での仕事を再開してから約 15 年経ちました。軽井沢での開業も来年で 10 年になります。

これまで多くの患者さんを診させて頂く機会に恵まれ心から感謝しております。医師になってから 30 年近くになりますが、外科医としても大学職員としても、そしてかかりつけ医としても勉強しなくてはいけない事が未だに山積していると感じております。

学会参加や緊急手術を含めてご利用頂いている皆様にはご不便をお掛けするかもしれませんが、少しでも自分の知識や技量を Brush up すべく研鑽を積んでいきたいと思っておりますので、ご理解頂けましたら幸いです。

手術で救える患者さんの数には限りがありますが、これまで通り目の前の患者さんへの診療手術を大事に、そして多くの患者さんを救える可能性のある研究もしっかり推し進め、1 人でも多くの患者さんを救っていただけたらと思っております。そしてご家族の安心に繋がってくれたら本望です。

院長 上野琢哉